

男女共同参画セミナー

落語で学ぼう！ ダイバーシティ＆ アンコンシャス・バイアス

講師：柳家三之助師匠（神栖市PR大使）

令和7年7月26日

平泉コミュニティセンター 多目的ホール

性別や年齢、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）にとらわれず、誰もが自分らしく生きられる社会を落語で楽しく学ぶセミナーをおこない、157名の方が参加しました。

【参加者の声】

- 初めてこのようなセミナーに参加しました。楽しい時間をありがとうございました。
- 初めて噺家の話を聞いて面白くもあり、勉強になりました。
- 「なんでもいいんだよ」の言葉の深さを考えさせられました。



神栖市女性団体連絡会 活動報告

神栖市女性団体連絡会では、男女共同参画社会の実現を目指したまちづくりや女性の地位向上、地域社会の発展のために活躍しており、リサイクルやSDGsを女性の視点から考える活動をおこなっています。

今年は、6月9日に、市内で環境保全対策や社員協働の取り組みをしている企業にご協力をいただき、自然活動や環境教育活動について、見学し勉強してきました。

6月16日には、連絡会に所属している団体が協力して、タオルや靴下、おむつなどを集めました。集まった衣類は、受け入れ可能な市内の障害者施設へ寄付し、活動支援に役立てていただきました。今後も、各女性団体で実践できるものについて検討し、男女共同参画社会の実現につなげられるように、引き続き活動していきます。



ハートフル かみすの あゆみ

平成11年6月23日に、男女共同参画社会基本法が施行されました。男性と女性が、同じように活躍できる社会を実現するために、国や地方自治体、国民が、何をすべきかを定めた法律です。ハートフルかみすは、平成18年3月から年3回発行されました。

「ハートフルインタビュー」では時の人を取材し、「輝く男女達（ひとたち）」（現在は「輝くひと」）では輝いている女性を多く取り上げました（現在は年2回発行）



今年、市制20周年を迎え44号を発行するにあたり、以前活躍されていた編集委員の方にお話を伺いました。

ハートフルのまなざしや学び

ハートフルの編集委員をさせていただき、とても勉強となり、良い思い出をつくることができました。特にハートフルな方たち「輝くひと」の取材を通して、たくさんの方の素敵な出会いを体験できました。

また、男女共同参画について、専門用語など知らないことがたくさんありましたが、共に編集委員だった方たちに助けていただきながら、楽しい企画、編集、校正などができました。感謝です。ありがとうございました。

平島幸子

男女共同参画情報誌創刊の喜び！

平成17年8月1日、旧波崎町と神栖町が合併し神栖市が誕生しました。

その年の暮れ、委員みんなで話し合い、「やさしさあふれるまち（神栖市）に！」との思いを込め「ハートフルかみす」と名前が決まり、創刊号平成18年3月に向けて編集の活動がスタートしました。

男女共同参画社会基本法施行から6年、神栖市誕生から6カ月。「私たちの思いを私たちの言葉で発信できる！」その編集に携われることにやりがいを感じて、ハートフルというよりパワフルでした（笑）。

企画を通し、多くの男女（ひと）に出会い、素敵な仲間たちと作業できたことが最高の思い出です。編集委員の皆様、市民協働課の皆様、声を寄せてくださった読者の皆様、ありがとうございました。

志水英子

法律が施行されてから、26年が経ちましたが、社会は変わったのでしょうか？

女性の
社会進出

男性の
育児休業

女性の
管理職登用

読者の声

皆さんから頂いた前号のハートフルかみすの感想を紹介します。



バックナンバーはこちら



- デジタルフォトコンテストの子どもたちの写真にほっこりです。みんな素敵ですね。
- 犬を守ったり、子どもたちを楽しませたりなど、いろんな仕事で安全や暮らしを大切にしているのがすごいと思いました。
- 女性活躍の取り組みに力を入れている

る地元企業があることを知り、興味深く思った。

- 毎回、さまざまな立場の人を取材していただき、こんな方もいるのだなと感心しています。「ハートフルかみす」をもっとたくさんの方の市民が読んで理解を深めていくことで、社会が少しずつよい方向に変わっていくことと思います。
- 「ピーマンタイム」というコーナー名がT H E神栖！という感じで目を引くので良いなあと思います。
- 女性が大きいフォークリフトを運転しているのは、とてもかっこよくて素敵です。会社側も女性が働きやすい環境を作ってくれるのはいいなと思います。これから先、女性が働きやすい環境が増えたらいいなと思います。神栖で犬や猫が多く保護されていることに驚きました。ペットの防災の記事では、クレートに入る練習も大切だと改めて思いました。避難所でペットと一緒にいられる所が増えてほしいです。保護犬や保護猫たちに新しい家族ができることを願っています。

